

ふれあいのまち



松原かわら版

世帯数 1,295 戸
人口 2,976 人
高齢化率(65歳以上) 29.8%
(令和7年6月1日現在)

松原地区の防災の取り組みと

皆様にお願ひしたいこと

30年以内に牛伏寺断層帯が原因の震度6弱以上の地震発生確率は31%、南海トラフ地震はM8〜9クラスの地震確率は80%です。また、松原地区は100年に1度の大雨で、0.5m未満または0.5〜3mの浸水のリスクがあるとされています。

大雨については、天気予報の精度が上がり、事前準備も

可能ですが、地震については予想は難しく、常日頃の備えが重要となります。

松原地区では、5月19日に町会単位で「避難行動要支援者名簿」を基に「ささえあいマップ」(単独では避難が難しい人の支援体制を記入した地図)の更新を行い、災害発生時の対応について班長以上で情報共有しました。



また6月1日には、一斉清掃に合わせ安否確認訓練を実施し、昨年からは、コロナ禍で一時中断していた総合防災訓練も再開

しました。これら地区の防災体制を種々検討する中で、明显改善中学校避難所の不備が浮き彫りになってきました。特に、トイレ、睡眠という最低限の生活に欠かせないものに對する準備が不十分と思われ、冷暖房器具等の準備もできていません。

連合会自主防災会としては、市の防災備品では不足と考えられるものについて地区独自で整えようと準備をしています。中学校体育館の避難所ではかなり劣悪な環境にならざるを得ないため、できる限り自宅避難で対応できるように、もう一度各ご家庭における地震への備えの大切さを訴えていきたいと考えています。

「連合会自主防災会から地区の皆様にお願ひしたいこと」

大原則：自分の身は自分で守る。

大規模地震が発生し、インフラ(電気、ガス、上下水道)が止まっても、自宅避難で7日間は自力で生き残れる準備をしてください。

「具体的には？」

- ① 死なない、ケガをしない
① 新耐震基準(1981年以後)の建築か
- ② 家具(タンス)、電気製

品(冷蔵庫・テレビ)等の転倒防止

- ③ 食器類の飛び出し防止、食器棚のガラス飛散防止シート貼り付け等

(2) 7日間は自力で生き延びる

- ① 7日分の水と食料の確保
- ② 7日分の非常トイレの準備

- ③ 非常用蓄電池(太陽光パネル付き)等の電気の確保や石油ストーブ等の準備

「安否確認訓練」

6月1日一斉清掃に合わせ、安否確認訓練をしました。

この確認訓練の第1目的は、救助すべき人を一早く探し出し、必要に応じた救助活動や救助応援依頼をする事など、誰一人取り残さない為の、大切な学習・訓練です。

各班の安否確認の集合同所、町会の一時集合場所、指定避難場所などの再確認を行いました。大雨(土石流)など災害が予想される時は、松原地区公民館に直接避難します。

(編集委員)



本年は、各家庭の防災力を一段階レベルアップできる防災講座を左記日程で開催し、本気の防災力UPを目指してまいりたいと思っておりますので、奮ってのご参加をお願いいたします。

- 第1回 8月23日(土) 19時から
 - 第2回 9月6日(土) 19時から
 - 第3回 9月23日(火) 19時から
- (連合会自主防災会より)

松原地区春季一斉清掃

春季一斉清掃が青空のもと実施されました。町会ごと、担当区域へ集合し、安否確認訓練を実施後、草取り、ごみ拾い等を行いました。挨拶を交わしながら草取りをしている爽やかな笑顔が印象的でした。
(編集委員)



松原中央公園・時計台植栽

6月14日、松原中央公園、町内公民館、時計台下花壇の植栽作業が行われました。各町会役員の方々が参加し、サルビア、マリーゴールドなど、色とりどりの花々が花壇に植えられました。皆の憩いの場に花が添えられ、癒しの空間が完成しました。暑い夏のひととき、皆さんの楽しみの場となればと思います。
(編集委員)



まつばらのできごと

5/9 大芝高原ウォーキング・養命酒工場見学



山々が見えるウォーキングに最適な気候の中、新緑に囲まれ、樹々の間を抜ける風で葉が揺れる音、小鳥のさえずりを聞きながら、癒しの森で心身ともにリフレッシュしてきました。

からくり時計

4年ぶりにうさぎを飼い始めました。来たばかりのうさぎは、目を丸くして、耳を立て、少しの物音にもびくびくしていました。そっと餌と水を置くことから始めました。

先代のうさぎは、我が家に8年いました。なでて欲しいと頭を差し出し、なでると手をペるペると舐めて、お返しに「毛づくろい」をしてくれました。子どもたちは私に叱られたり、兄弟喧嘩をしたりすると、うさぎの横に行き、「毛づくろい」をしてもらいます。私もうまくいかないときは、「毛づくろい」をしてもらいました。波立っていた心が風いでき、素直になれたのを覚えています。

さて、2代目のうさぎは、少しずつ新しい環境に慣れ、ケージの外に出て飛び跳ねたり、足元に近寄ってきたりするようになりました。それでも抱っこをしようとする、逃げていきます。動物と信頼関係を築くことは、とても時間がかかる、と改めて感じています。

何に対しても、すぐに結果を求めがちな昨今、むしろそのプロセスを楽しみたいと思っています。
(編集委員)